



学校報

笑顔と挑戦

井川義務教育学校
第 4 号

校訓 青雲大志

ともに学び、挑み続ける児童生徒の育成

令和 7 年 6 月 2 7 日

男鹿潟上南秋中学校総合体育大会 吹奏楽コンクール中央地区大会

先日、男鹿潟上南秋中学校総合体育大会が開催されました。見事、全県大会の切符を手にした選手の皆さん、全県大会出場おめでとうございます。来月行われる秋田県中学校総合体育大会までは、卓球競技が約 2 週間、柔道競技が約 3 週間あります。中総体でよかったところは更に伸ばし、うまくいかなかったところは大会までに改善できるように、充実した練習を積み重ねてください。また、7 月 6 日(日)には吹奏楽コンクール中央地区大会が行われます。これまでの練習の成果を本番では全て出し切ってください。

残念ながら全県大会出場を逃した選手の皆さん。もしかしたら、全県大会に出場できたかもしれないと感じている選手もいることでしょう。本当に悔しい気持ちで大会を終えたと思います。きっと、これまで何かを犠牲にして、ものすごい努力をしてきたのではないかと思います。全県大会出場という目標は叶いませんでしたが、部活動を通して、大きく成長したはずです。今後の学校生活において、それらを十分に発揮してください。今すぐに気持ちを切り替えることは難しいかもしれませんが、新たな目標に向かって一日一日を大切にしてほしいと思います。また、これまで皆さんを全力でサポートしてくれた家族、仲間に対して、必ず感謝の気持ちを言葉で伝えてください。

最後に、応援委員を中心とした児童生徒の皆さん。先日の激励会もそうでしたが、市郡総体での力強い応援、本当にありがとうございました。2 日間、野球会場での応援でしたが、皆さんの応援のおかげで、実力以上の力を発揮できた選手もいたと思います。全力で選手を応援している姿を目の当たりにし、本当に頼もしくもあり、嬉しくもあり、最高の時間を皆さんとともに過ごすことができました。皆さんの行動や言動で、元気とパワーをもらった人はたくさんいます。今後も、「チーム井川」を合い言葉に、皆さんが諸活動で努力する姿、周囲の人たちをさりげなくサポートする姿を見せてください。期待しています。

男鹿潟上南秋総合体育大会

(令和 7 年 6 月 14 日～15 日)

戦績

【女子バレーボール】 第 3 位

- 予選リーグ 1 勝 1 敗
- 大潟・井川 0-2 天王
- 大潟・井川 2-0 男鹿東
- 準決勝
- 大潟・井川 0-2 男鹿南



【野球】 準優勝

- 1 回戦 井川 11-1 天王
- 決勝 井川 3-6 大潟



【男子バスケットボール】

- リーグ戦 4 敗
- 五城目一・井川 33-92 八郎潟
- 五城目一・井川 35-88 羽城
- 五城目一・井川 48-55 男鹿東
- 五城目一・井川 41-64 天王



【女子卓球（団体）】 **準優勝 県大会出場**

予選リーグ 3勝

井川 3-0 男鹿南

井川 3-1 羽城

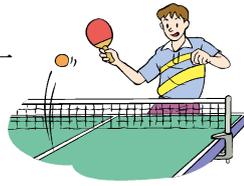
井川 3-0 五城目一

準決勝

井川 3-0 天王

決勝

井川 2-3 五城目一



【男子卓球（個人）】

3回戦敗退 ※※※※※(7年)

【女子卓球（個人）】

第2位 ※※※※※(9年) **県大会出場**

第3位 ※※※※※(8年) **県大会出場**

ベスト8 ※※※※※(9年) **県大会出場**

ベスト8 ※※※※※(9年) **県大会出場**

ベスト16 ※※※※※(9年)

ベスト16 ※※※※※(8年)

2回戦敗退 ※※※※※(9年)

2回戦敗退 ※※※※※(7年)

2回戦敗退 ※※※※※(7年)

2回戦敗退 ※※※※※(7年)

【男子柔道（団体）】 **第4位**

リーグ戦 3敗

井川 0-3 羽城

井川 0-4 天王

井川 0-4 五城目一



【男子柔道（個人）】

優勝 90kg級 ※※※※※(8年)
県大会出場

準優勝 81kg級 ※※※※※(9年)
県大会出場

第3位 60kg級 ※※※※※(7年)

秋田県中学校総合体育大会

7月12日(土)~13日(日)

卓球 タクミアリーナ

7月22日(日)

柔道(個人戦) 県立武道館

**ご来校ありがとうございました
みんなの登校日**

6月12日~14日に実施した「みんなの登校日」。今年もたくさんのご家族や地域の方々が来校し、子どもたちの様子を参観してくださいました。期間中の来校者総数は128人(昨年度119人)でした。夏休み明け、9月7日(土)に学校祭、9月21日(土)に祖父母参観日(前中期)、11月16日(土)に学習発表会を予定しています。ご家族の皆様、地域の皆様に足を運んでいただき、それぞれの行事で、子どもたちが活動している姿をご覧いただければと思います。どうぞ、近隣の方へお声掛けしていただき、おいでくださるようお願いいたします。詳細については、改めてご案内いたします。



クマ騒動

昨年末、全国ニュースにもなった秋田市内スーパーでのクマ出没のニュース。現在も、ツキノワグマ等情報マップシステム【クマダス】には、井川町での出没が頻繁に掲載され、決して安心できる地域ではないことを皆さんも実感していると思います。秋田県生活環境部自然保護課のパンフレットには、次のようなことが記載されています。

【クマに会わないために】

・音を出す！音を立てて人の存在をアピールすることは「きほんのき」

【クマに会ってしまったら】

・ゆっくり後ずさり

・避難する

・クマとの間に遮蔽物を挟む

学校では、カバンなどに鈴を付けたり、複数で登下校するなどの指導をしております。ご家庭でもクマ対策について、話題にいただけたらと思います。



校長のつぶやき

どんな勉強方法がよいのだろう？

□効果的な学習方法

勉強をしようと思っていても、「どのように勉強したらよいのか」、「何から手を付けたらよいのか」という悩みを誰しも経験したことがあると思います。今現在も悩んでいる人も少なくないかもしれません。

以前、私が勤務していた学校の校長先生が、著名な脳科学者である東京大学薬学部教授の池谷裕二(いけがやゆうじ)氏の講演を聴き、その内容を全校生徒に伝えました。

「学習、成長—未来の脳を考える」という講演テーマで、次のような内容だったようです。〈以下、原文(本人了承済み)〉

人は最小限の努力で最大の効果を出したい、自分に合った学習方法を知りたいという願いをもちます。しかし、池谷先生によると、この考えは甘ったれた考えで、間違っているそうです。学習は、**つらい方が脳に深く定着しやすい**。効率性や即効性を求めるのは間違っている、自分のスタイルに合った勉強法というのも間違いだと先生は言うのです。その根拠は、脳の仕組みによるのだそうです。脳は、入力(記憶すること)よりも出力(思い出すこと)を重視する。だから、**思い出す訓練をたくさんするべきだ**と教授は言います。そのためには、練習問題をたくさん解くとよいのだそうです。つまり、テストを何度も繰り返して、習ったことを一生懸命思い出す学習方法です。単語帳を使う方法や、カラーシートをかぶせて覚える方法もこれに当たります。そういう学習をしていくと、脳は、「この情報をこんなに使う機会があるのか」と判断し、記憶するのだそうです。時間を費やして繰り返してテスト(練習問題)を解き、分からないところや間違ったところを一つずつなくしていくという、地道でつらい学習方法が、最も効果があるということのようです。私たちがあまり好きではないものと捉えがちなテストは、思い出すためのトレーニングとしてたいへんよい機会だと教授は言っ

ています。「テストは、答えを推測することに意味がある。だから、間違ってもよいのだ」と。しかし、私たちは結果のみにとらわれてしまい、テストというだけで固まってしまうことがよくあります。それは、テストは自分を評価してランク付けるものだと思ってしまい、少しでも点数を稼がねばならないという強迫観念にかられてしまうからかもしれません。テストの概念について、意識改革をすべきだと教授は言います。**テストはよいこと、必要なことだと前向きに捉え、積極的にテストに取り組めるといいですね。**(そのためには、親の意識改革も必要になります。)ちなみに、テストは学習する前にやるのも効果的だとか。要は、答えを推測することが大事なのだそうです。

池谷先生によると、ダメな勉強方法というものもあるそうです。それは、教科書や参考書を見るだけの勉強方法。(先生は「テキストの再読」と呼んでいました。)見るだけでは記憶の保持にはほとんど役に立たず、定着しないのだそうです。テキストの再読がダメな理由は三つ。①**記憶が長持ちしない**、②**時間がかかる**、③**読み慣れたことで覚えた気になる**(「流暢性の幻想」と呼ぶそうです)。特に、③は、誰にでも無意識に起こることなので、気を付けた方がよいと言っていました。同様に、ノートや教科書に線を引いたり付箋を貼ったりするだけ、ノートを書き写すだけ、作ったまとめを見直すだけ、覚えた直後に同じことを勉強する、などもダメな勉強法だそうです。

ところで、先生は、『やればできる』の畏についてもお話ししていました。「**やればできる→いつかやるとやるべきことを先延ばしにする→差が広がる→やっても他に追いつかない→追いつかない事実を認めたくないため、やらないことに固執する**」という悪循環のことだとか。「やればできる」は、慢心に過ぎないそうです。耳が痛い話です。